

三笠宮杯のブロック代表選抜方法について

2008年2月2日
東北ブロック運営委員会決定

2007年より各ブロック選抜方式となった三笠宮杯の2008年の東北ブロックにおける6組の選抜方法について、以下のように決定する。

<選抜方法>

- 対象三笠宮杯大会の前年の後期東北ブロック選手権、当該年の前期ブロック選手権を選抜大会とする。
- 両大会の結果をブロックランキング規定に準じ合計得点を算出し、上位6組を東北ブロック代表として三笠宮杯の選抜者とする。
- 上位6組のうち辞退者がいれば、出場者が6組になるまで順次繰り下がる。
- 対象者全員に確認し、6組に満たない場合、前年度ブロックランキングや他の競技実績をもとに各県会長が自県内選手の推薦が出来る。推薦を受け、ブロック代表となった選手は必ず出場申し込みをすることとする。

<代表決定のスケジュール>

- 2月
上半期
- ブロック運営会議にて前年後期の結果選抜得点を公表。ブロックHPに掲載。
 - 前期東北ブロック選手権
- 6月
- 選抜対象者の優先順位決定（メール会議で確定しHPに掲載）
- 7月
- 優先順位順番に各県にて対象者に出場確認
- 8月末
- ブロック代表出場者6組決定
- 9月
- 代表選手出場申込
- 10月
- 三笠宮杯

2008年三笠宮杯東北ブロック代表選考(一般St)

整理No.	リーダー	パートナー	所属	2007年10月14日 後期ブロック選手権・岩手		2008年4月20日 前期ブロック選手権大会・山形		合計 点数	代表選 考順位	三笠 出場の 意思
				最高得点 順位	80 点数	最高得点 順位	80 点数			
10	山下和男	山下千佳子	岩手DSC	1	80			80	1	
100	四戸賢治	村野みり	岩手県	2	75			75	2	
3	菅野忠司	菅野登美子	山形DSC	3	70			70	3	
107	栗田良実	栗田幸子	岩手DSC	4	65			65	4	
1	村上喜一郎	林映子	宮城DSC	5	60			60	5	
8	池田謙二	池田香奈子	山形DSC	6	55			55	6	
6	千葉伸吾	児玉あけみ	宮城DSC	7	50			50	7	
7	奈良孝行	奈良直美	宮城DSC	8	45			45	8	
2	佐藤靖幸	佐藤聡子	秋田DSC	9	40			40	9	
5	高橋祐晃	高橋美香	宮城DSC	10	35			35	10	
15	千葉英明	千葉順子	岩手DSC	11	30			30	11	
37	斎藤和義	小田中秀	岩手県	最終予選	20			20	12	
28	山岡光広	加賀谷晴子	秋田DSC	最終予選	20			20	12	
16	古川勲	川村京子	福島県	最終予選	20			20	12	
13	熊谷義昭	熊谷正子	福島DSC	最終予選	20			20	12	
60	平井剛秋	平井夏	山形DSC	3次予選	15			15	16	
21	樋口一美	水野恵子	山形DSC	3次予選	15			15	16	
9	泉山明	泉山利枝子	岩手県	3次予選	15			15	16	
33	市川實	市川由子	岩手DSC	3次予選	15			15	16	
103	藤木幸太	添田睦	青森DSC	3次予選	15			15	16	
418	榎本和弘	栗田優香	岩手県	3次予選	15			15	16	

2008年三笠宮杯東北ブロック代表選考(一般La)

整理No.	リーダー	パートナー	所属	2007年10月14日 後期ブロック選手権・岩手		2008年4月20日 前期ブロック選手権大会・山形		合計点 数	代表選 考順位	三笠 出場の 意思
				最高得点 順位	80 点数	最高得点 順位	80 点数			
389	坂本弘文	坂本純子	福島県	1	80			80	1	
16	古川勲	川村京子	福島県	2	75			75	2	
13	熊谷義昭	熊谷正子	福島DSC	3	70			70	3	
6	千葉伸吾	児玉あけみ	宮城DSC	4	65			65	4	
34	佐藤誠	佐藤美喜子	岩手DSC	5	60			60	5	
418	榎本和弘	栗田優香	岩手県	6	55			55	6	
4	中道俊之	中道和子	岩手DSC	7	50			50	7	
407	阿部優樹	阿部律奈	岩手県	8	45			45	8	
273	佐々木浩	佐々木咲子	秋田県	9	40			40	9	

東北ブロック代表として出場された選手には、出場料相当の支援をいたしますので、なにとぞ、お引き受け頂きますようお願い致します。

